

積算総括表

工事名	向洋中学校空中回廊災害復旧工事		
工事費	金 円(消費税を含む)		
工事日数			
項目	名称	金額(円)	摘要
A	直接工事費		
B	共通仮設費		
C	純工事費		
D	現場管理費		
E	工事原価		
F	一般管理費等		
G	契約保証費		
H	工事価格合計		
	改め		
	消費税等相当額		
	工事価格		

共 通 費

主たる工 事の種別	工事種目		直接工事費(A)	共通仮設費(B)			純工事費(C)
				共通仮設費率	補正率	共通仮設費	
建築工事（改修）	一般工事	新営 改修					
	鉄骨工事	新営 改修					
	その他工事	家具・書架等 造園装し 舗取壊し その他					
	共通仮設費(積上分)		新営 改修				
	現場管理費(積上分)		新営 改修				
	小計						
	発生材処分費						
	合計						
	工事種目		現場管理費(D)			工事原価(E)	
			現場管理費率	補正率	現場管理費		
	一般工事	新営 改修					
	鉄骨工事	新営 改修					
	その他工事	家具・書架等 造園装し 舗取壊し その他					
	共通仮設費(積上分)		新営 改修				
	現場管理費(積上分)		新営 改修				
小計							
発生材処分費							
合計							

工事番号 七教第16-2041号
 工事名称 平成28年度 向洋中学校空中回廊災害復旧工事
 発注者 七ヶ浜町

工 期		
監督員事務所の有無		無し
前払金支出割合による一般管理費の補正		有り
前払い金支出割合		
契約保証費の有無		有り
消費税 率		8.0%

一般管理費等(F)		
一般管理費等率	補正率	一般管理費
契約保証費(G)		
工事価格(H)=(E)+(F)+(G) (税抜き)		
	改め	
消費税相当額		
工事価格(税込み)		
	(税込み)	

平成28年度 向洋中学校空中回廊災害復旧工事

公開数量内訳書

<取扱上の注意事項>

- 1 本内訳書に記載されている数量は参考数量であり、本内訳書は工事請負契約書に記載される設計図書には含まれない。
- 2 公開数量は、設計変更や出来高計算等の対象数量となるものではない。
- 3 公開数量は、平成27年基準国土交通省建築工事積算基準及び建築数量積算基準に準拠している。
- 4 本内訳書に疑義があるときは、公開数量に関する質問書に入札参加予定者が自ら作成した内訳及びその根拠（部位別及び階別の集計表）を明示した数量見積書を添付して質問することができる。（細目は、工事担当に問い合わせのこと。）

七ヶ浜町

（数量公開用）

項 目	名 称	金 額 (円)	摘 要
A	指定仮設工事		
	既存改修工事		
B	直接工事費		
	既存改修工事		
C	発生材処分費		
	既存改修工事		
			共通仮設(積上げ)
	(合計 A+B+C)		建+電+機械(処分費抜き)
	(合計 B+C)		
			建築一式
			(発生材処分)

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
B-II-3	エキスパンション関連工事						
	(新設)						
	<外部>						
	エキスパンションジョイント	屋根+外壁 1H耐火 R曲げ加工	11.2	m			
	エキスパンションジョイント	外壁L型 1H耐火	8.7	m			
	EXP.J取合 シーリング	変成シリコン系(MS-2) 15x10	39.8	m			
	防水形複層塗材E	モルタル面 ゆず肌 ローラー塗り 水系 つやあり 上塗2回	4.0	m ²			
		下地調整費(C-1)共					
	<内部>						
	エキスパンションジョイント	床+床 1H耐火	4.0	m			
	エキスパンションジョイント	床コーナー 1H耐火	1.0	m			
	エキスパンションジョイント	内壁コーナー	6.3	m			
	エキスパンションジョイント	内壁出隅部コーナーカバー	4.0	か所			
	エキスパンションジョイント	天井コーナー 立面加工 特注タイプ	9.8	m			
	壁 EP塗り	合板面 工程B種(一般) 素地A種	1.6	m ²			
	壁 有孔合板張り	しな 厚5.5mm	1.6	m ²			
	壁 EP塗り	モルタル面 工程B種(一般) 素地B種	4.0	m ²			
	壁モルタル塗り	金ごて 内壁 厚15	4.0	m ²			
	Uカットシール材充てん工法	可とう性エポキシ樹脂充てん	1.5	m			
	天井 グラスウールボード張り	厚25 32kg品 ガラスクロス巻 不燃	2.2	m ²			
	煙感知器	取外し再取付	1.0	個			
	電線管G54	取外し再取付	3.0	m			
	(撤去)						
	<外部>						
	EXP.J撤去	屋根R部	11.2	m			
	EXP.J撤去	外壁直線部	8.7	m			
	<内部>						
	EXP.J撤去	床+床	4.0	m			
	EXP.J撤去	床コーナー	1.0	m			
	EXP.J撤去	内壁コーナー	6.3	m			

現場説明書

1. 工事概要等

- ① 本工事は、向洋中学校内の空中渡り廊下(空中回廊)の地震被災部分の改修復旧工事を行うものであり、空中渡り廊下部の、ガラス天井及び腰高壁部ガラスの部分撤去新設を行う。
- ② 天井部には、曲面アルミパネルを採用し高温期の温度上昇を緩和する。
- ③ 本校、体育館壁部並びに廊下床部のEXP. J撤去新設を行うと共にクラック部の補修を行う。

2. 施設概要

本施工箇所は、本校舎と体育館への主要通路となっている。

3. 発注図書概要

工 事 名 平成28年度 向洋中学校空中回廊災害復旧工事

図面確認

建 築 図	表 紙	01	1枚	設計図書の仕様については、各項目を含め精査のうえ積算を実施してください 現場確認においては、予め施設管理者の承諾を受けること
	案内配置	02	1枚	
	特記仕様書	03～05	3枚	
	仕上・平面	06～10	5枚	
	立面・詳細図等			
	併用図共		計10枚	
電気設備及び一部防災設備	断面詳細図	09	併用図	
機械設備図				

建築概要

- ① 既存網入り曲面ガラス撤去処分新設
- ② 既存腰壁部網入りガラス部分撤去新設
- ③ 既存壁面及び床面EXP. Jの撤去新設【平面、断面詳細・伏図等による】
- ④ EXP. J撤去新設に伴う外壁吹付けタイル仕上
- ⑤ EXP. Jの撤去新設に伴うクラック補修【平面、断面詳細・伏図等による】
- ⑥ 外部仮設足場計画は、渡り廊下直下の通行を考慮すること

電気設備概要

- ① 電線管の一部仮移設のうえ再設置
- ② 既存煙感知器一時撤去、再設置
- ③ 感知機能一時停止関連について考慮のこと

4. その他

- ① 本工事は、災害復旧補助工事となるため速やかに着工してください
- ② 契約後、速やかに担当者との協議を実施し、工期考慮のうえ施工計画書等を提出のうえ工事準備を整えること
- ③ 契約後、速やかに発注主管課(教育総務課)の担当窓口者を確認してください

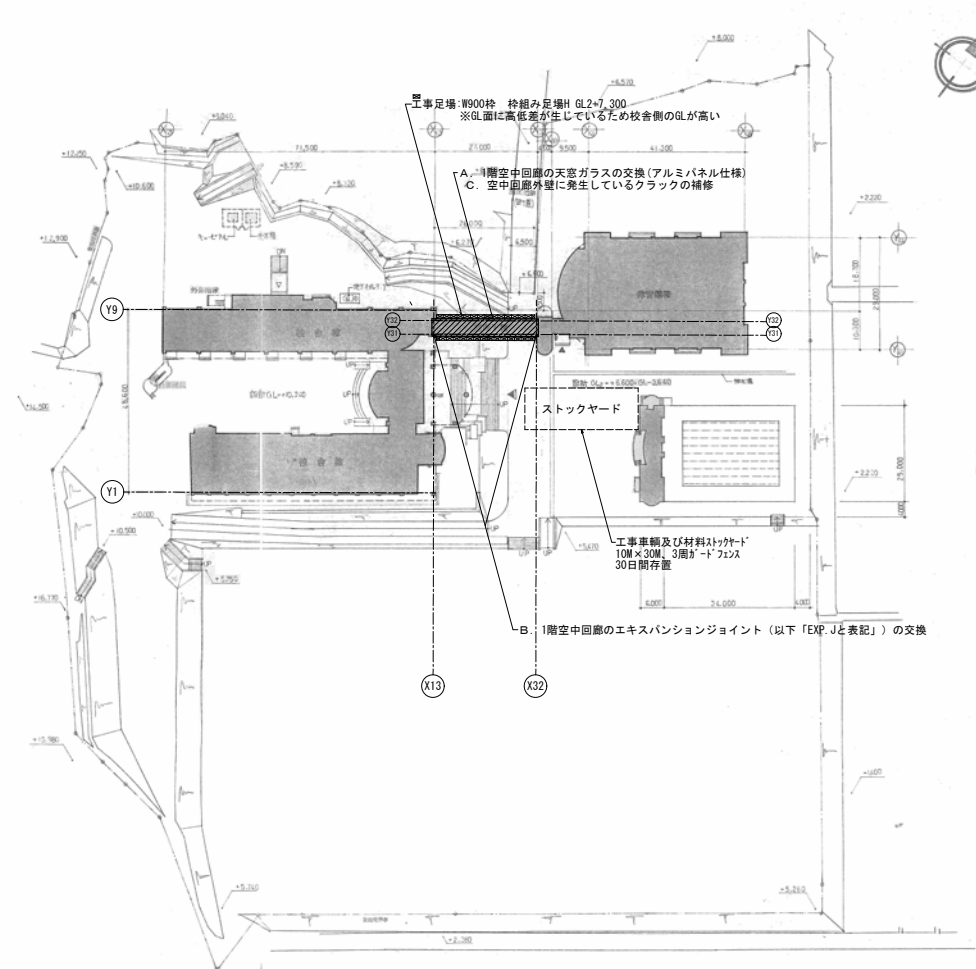


工事場所: ケケ浜町遠山一丁目9-18地内(向洋中学校)

案内図 S=NON

工事概要

- A. 1階空中回廊の天窓ガラスの交換(アルミパネル仕様)
- B. 1階空中回廊のエキスパンションジョイント(以下「EXP. J」と表記)の交換
- C. 空中回廊外壁発生しているクラックの補修



配置図 S=1:1,000

		委託番号	日付	平成28年度 向洋中学校空中回廊災害復旧工事	設計図	図面名	図面種別
						案内図・配置図	A L
						縮尺 S=1:1000	S=N. S(A3版 50%縮小)
							02

3 防水 改修 工事	9 ルーフ ドレイン	※ 鋳鉄製 ※ 縦型 ・ 横型	＜3.8.3(h)＞(表3.8.1)
	10. アルミニウム 製窓木	部材の種類 ・ 押出 250形 ・ 押出 300形 ・ 押出 350形 ・ 板材折曲げ形 付属品部材、角各部並びに突当り部等の役物は、窓木本体製作所の仕様による。	＜3.9.2＞(表3.9.1)
	11. 防水保証	表面処理 ※ B-1種 ・ B-2種	＜3.9.2＞(表5.2.2)

4 1 壁 改修 工事	① ひび割れ部 改修	○ コンクリート打放し仕上げ	＜4.3.4～6＞
		工 法	材 料
	※ シール工法	※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂	0.2未満

2 欠損部改修	②	○ モルタル塗り仕上げ	＜4.4.5～7＞
		工 法	材 料
		※ シール工法	※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂

2 欠損部改修	②	○ タイル張り仕上げ	＜4.5.5～8＞(表4.5.16)
		工 法	材 料
		※ シール工法	※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂

2 欠損部改修	②	○ タイル張り	＜4.5.8～9＞(表4.5.16)
		工 法	材 料
		※ シール工法	※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂

2 欠損部改修	②	○ モルタル塗り仕上げ	＜4.4.8～9＞
		工 法	材 料
		※ シール工法	※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂

2 欠損部改修	②	○ タイル張り仕上げ	＜4.5.7～8＞
		工 法	材 料
		※ シール工法	※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂

2 欠損部改修	②	○ タイル張り仕上げ	＜4.5.7～8＞
		工 法	材 料
		※ シール工法	※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂

3 外 壁 改修 工事	③	④ 浮き部改修	○ モルタル塗り仕上げ	＜4.4.4＞(表4.4.8～15)
			工 法	材 料
		○ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	0.25未満	※16

3 外 壁 改修 工事	③	○ タイル張り仕上げ	＜4.5.4＞(表4.5.7～15)	
		工 法	材 料	
		○ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	0.25未満	※16

3 外 壁 改修 工事	③	○ タイル張り	＜4.5.8～9＞(表4.5.16)	
		工 法	材 料	
		○ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	0.25未満	※16

3 外 壁 改修 工事	③	○ タイル張り	＜4.5.8～9＞(表4.5.16)	
		工 法	材 料	
		○ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	0.25未満	※16

3 外 壁 改修 工事	③	○ タイル張り	＜4.5.8～9＞(表4.5.16)	
		工 法	材 料	
		○ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	0.25未満	※16

3 外 壁 改修 工事	③	○ タイル張り	＜4.5.8～9＞(表4.5.16)	
		工 法	材 料	
		○ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	0.25未満	※16

3 外 壁 改修 工事	③	○ タイル張り	＜4.5.8～9＞(表4.5.16)	
		工 法	材 料	
		○ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	0.25未満	※16

3 外 壁 改修 工事	③	○ タイル張り	＜4.5.8～9＞(表4.5.16)	
		工 法	材 料	
		○ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	0.25未満	※16

6 壁 改修 工事	⑤	⑤ 一般事項	改修工法 ・ かぶせ工法 ・ 撤去工法 新規建築周囲の補修方法及び範囲は図示による。	＜5.1.3＞
		⑥ アルミニウム 製建具	見本の作成等 製 作 ※ 行わない 取 組 ※ 行わない	＜5.1.5＞
		⑦ 網戸	防犯建物部品 ※ 使用しない 外部に面する建具 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 ・ A 種 S-4 A-3 W-4 70 (引違い、片引き、上げ下げ窓 で複層ガラスを使用する時に 性能が確保できない場合は、 100)	＜5.1.7＞ ＜5.2.2＞(表5.2.4)＜表5.3.2＞

6 壁 改修 工事	⑤	⑧ 網戸	防音ドアセット、防音サッシ 適用する場合の遮音性の等級 断熱ドアセット、断熱サッシ 適用する場合の断熱性の等級 耐震ドアセット、耐震サッシ 適用する場合の面内変形 追従性の等級	＜5.2.3＞
		⑨ 鋼製建具	簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示とする) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 建具材法が(5.3.4(a))を超える又は図示された建具に使用する鋼板の厚さ 区分 使用箇所 厚さ (mm) 窓 枠種 枠、方立、無目 2.3 出入口 枠種 一般部 2.3 戸 中骨 2.3 上記以外 使用箇所 厚さ (mm) 2.3 標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 戸の鋼板 ※ 表面処理亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 標準型鋼製建具 ※ 使用する 標準型鋼製建具の小窓枠、がらり ※ 鋼製 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示とする) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞
		⑩ ステンレス製 建具	簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示とする) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞

6 壁 改修 工事	⑤	⑪ 鋼製建具	簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示とする) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 建具材法が(5.3.4(a))を超える又は図示された建具に使用する鋼板の厚さ 区分 使用箇所 厚さ (mm) 窓 枠種 枠、方立、無目 2.3 出入口 枠種 一般部 2.3 戸 中骨 2.3 上記以外 使用箇所 厚さ (mm) 2.3 標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 戸の鋼板 ※ 表面処理亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 標準型鋼製建具 ※ 使用する 標準型鋼製建具の小窓枠、がらり ※ 鋼製 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示とする) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞
		⑫ 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ・ A種 ・ B種 ・ C種 かまはの樹種 かまはは杉上小節程度 桂、欅板は杉節程度 ふすまの張り ※ 新島の子程度又はビニル紙程度 ふすまの種類 ※ 戸ふすま ・ 在来型 ・ テップ型	(表16.3.2)に同じ (表16.3.2)に同じ ＜5.6.2～4＞
		⑬ ガラス	標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞

6 壁 改修 工事	⑤	⑭ ガラス	標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞
		⑮ 工務所 アルミパネル 加工品 網入り透明ガラス 16.8R付 その他は図示による	標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞
		⑯ 網戸	標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞

6 壁 改修 工事	⑤	⑯ 網戸	標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞
		⑰ ガラス	標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞
		⑱ 網戸	標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞

6 壁 改修 工事	⑤	⑳ ガラス	標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞
		㉑ 網戸	標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞
		㉒ ガラス	標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞

6 壁 改修 工事	⑤	㉓ ガラス	標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞
		㉔ 網戸	標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞
		㉕ ガラス	標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞

6 壁 改修 工事	⑤	㉖ ガラス	標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞
		㉗ 網戸	標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞
		㉘ ガラス	標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞

6 壁 改修 工事	⑤	㉙ ガラス	標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞
		㉚ 網戸	標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞
		㉛ ガラス	標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞

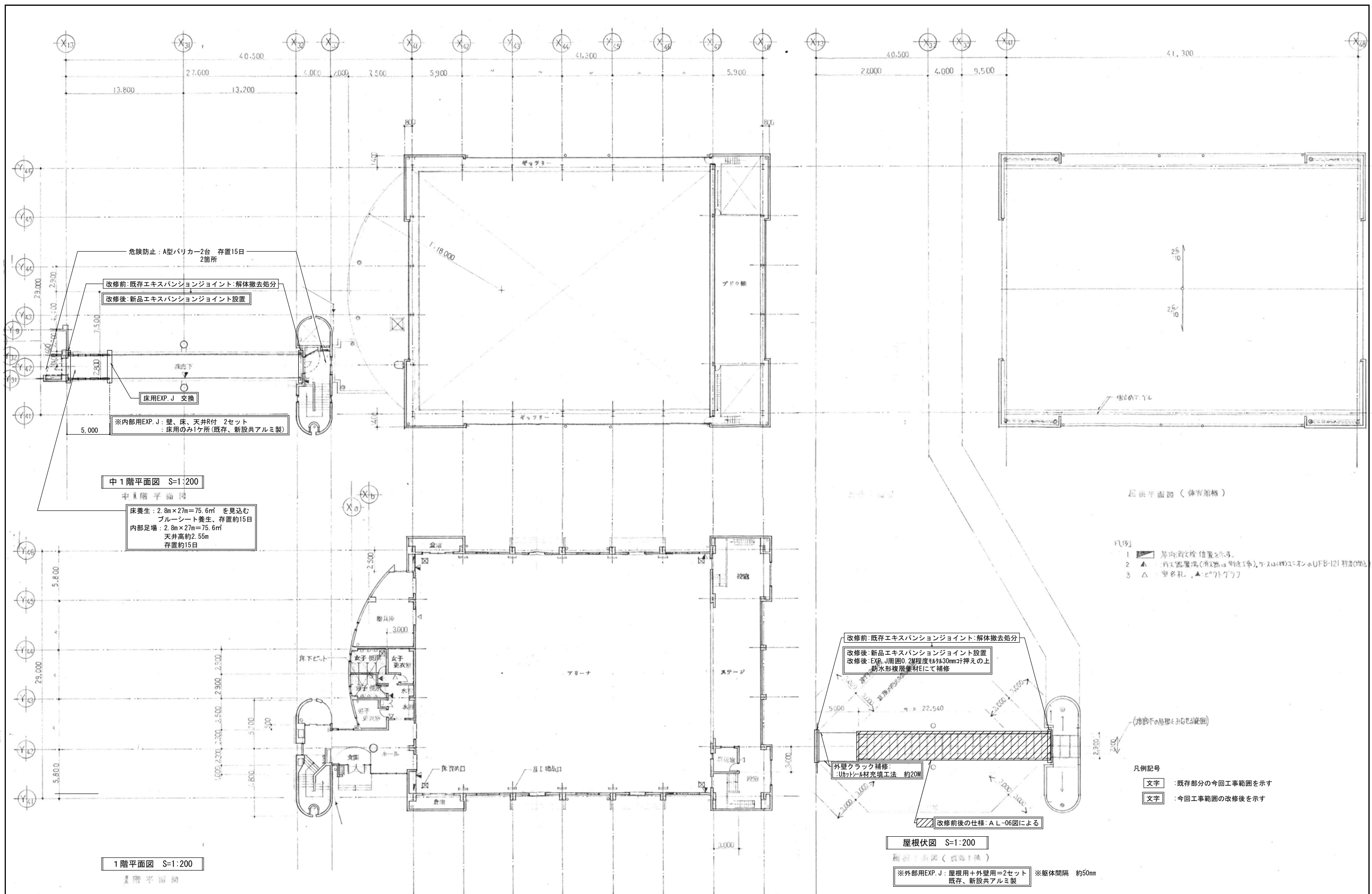
8 建具 改修 工事	⑧	⑧ 建具用金物	金物の種類 モノロック 本締め付きモノロック シンリダー箱錠 シンリダー本締め錠 ドアクローザー フロアピンジ ヒンジクローザー ピボットセンジ レバーハンドル	型式 製造所	＜5.6.2＞(表5.6.1)
		⑨ 自動ドア 開閉装置	標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具 (標準型共) のドアクローザー、 シンリダー箱錠は公共工事標準型とする。 マスターキーの作成 要 ・ 不要 ○ 不要 (既存マスターキーで施錠可能とする。)	性能 ○ スライディングドア ・ スイングドア	＜5.7.2＞(表5.7.1～2)
		⑩ 重量 シャッター	センサーの種類 ・ 光線式 (反射) スイッチ ・ マットスイッチ式 ・ タッチスイッチ ・ 補助センサー併用	凍結防止装置 全半開装置	＜5.7.3＞(表5.7.3)

8 建具 改修 工事	⑧	⑪ 網戸	標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞
		⑫ 木製建具	標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞
		⑬ ガラス	標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞

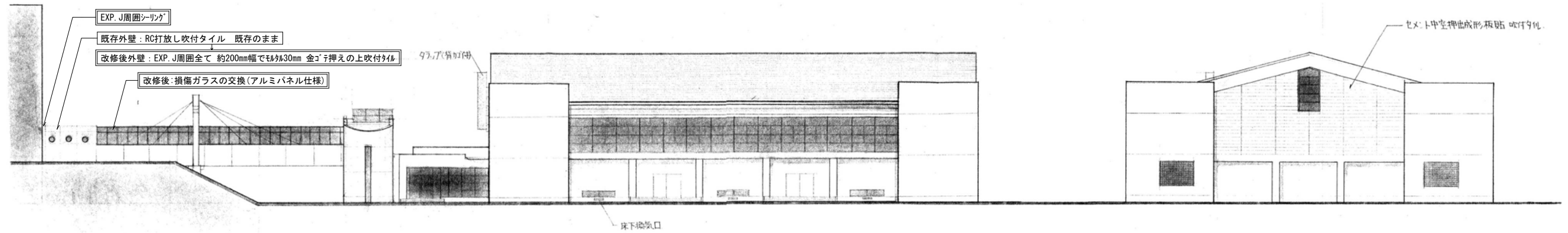
8 建具 改修 工事	⑧	⑭ ガラス	標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞
		⑮ 網戸	標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞
		⑯ ガラス	標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞

8 建具 改修 工事	⑧	⑯ ガラス	標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞
		⑰ 網戸	標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞
		⑱ ガラス	標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞

8 建具 改修 工事	⑧	⑰ 網戸	標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4.6＞ ＜5.5.2＞ ＜5.5.4＞ ＜5.5.6＞
		⑱ ガラス	標準型鋼製建具 ※ 使用する 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 表面処理 ・ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ	＜5.2.3＞ ＜5.3.2＞(表5.3.4)＜表5.3.2＞ ＜5.4.2～4＞(表5.4.1) ＜5.4

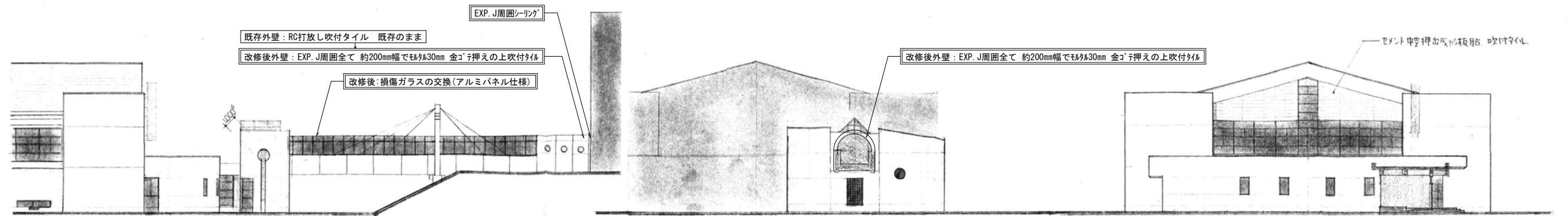


図面名	空中回廊 中1階平面図・屋根伏図	図面種類	A L
縮尺	S=1:200	図面番号	07
設計	設計図	図面縮小	S=N. S (A3版 50%縮小)
平成28年度 向洋中学校空中回廊災害復旧工事			



南側 立面図 S=1:200
南側 立面図

東側 立面図

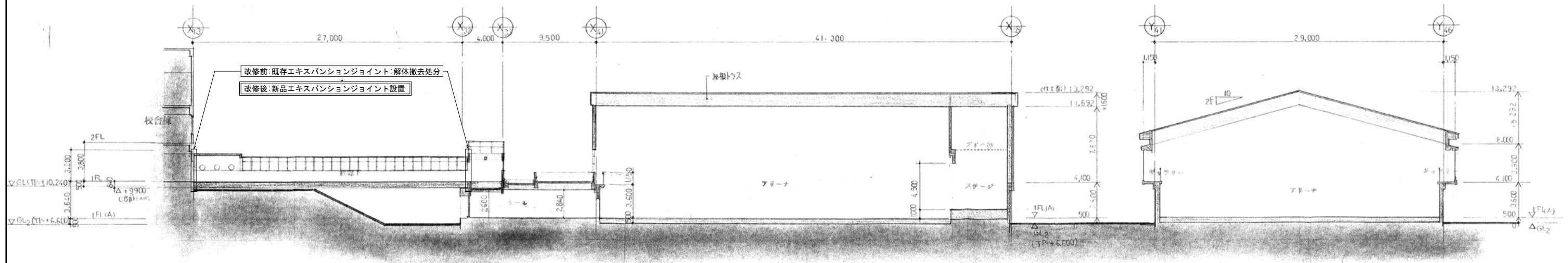


南側 立面図 S=1:200
北側 立面図

西側 立面図

西側 立面図

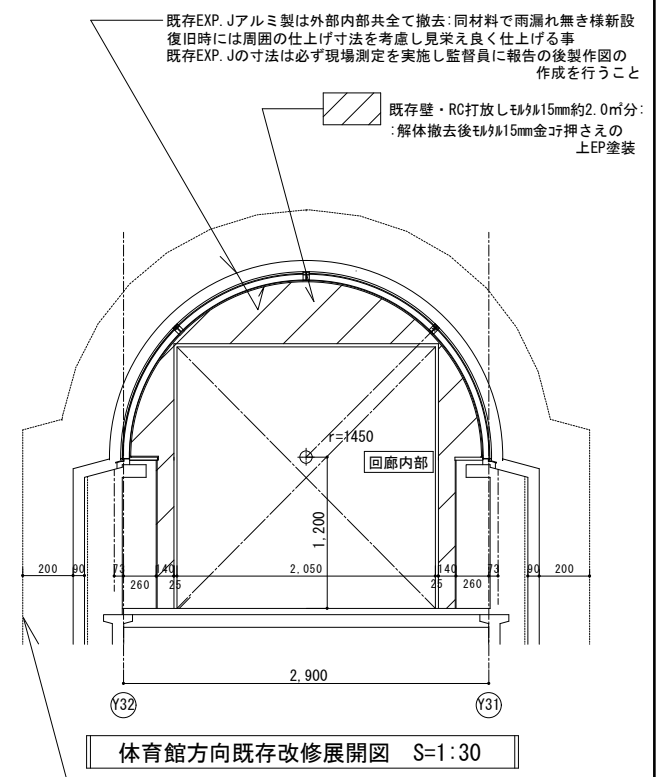
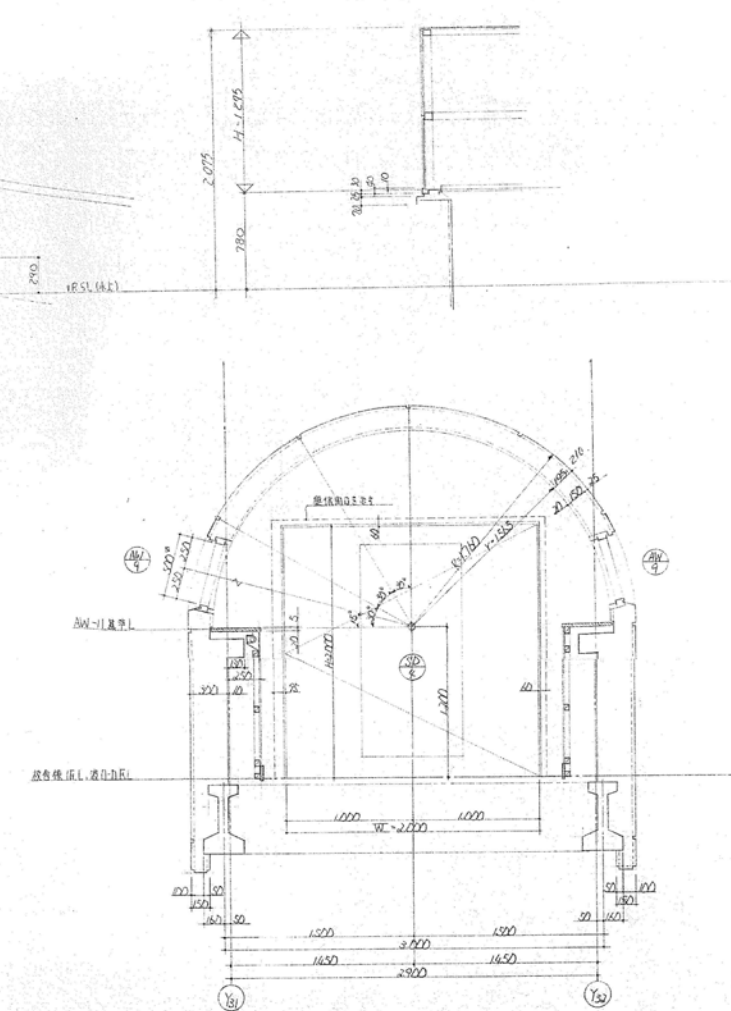
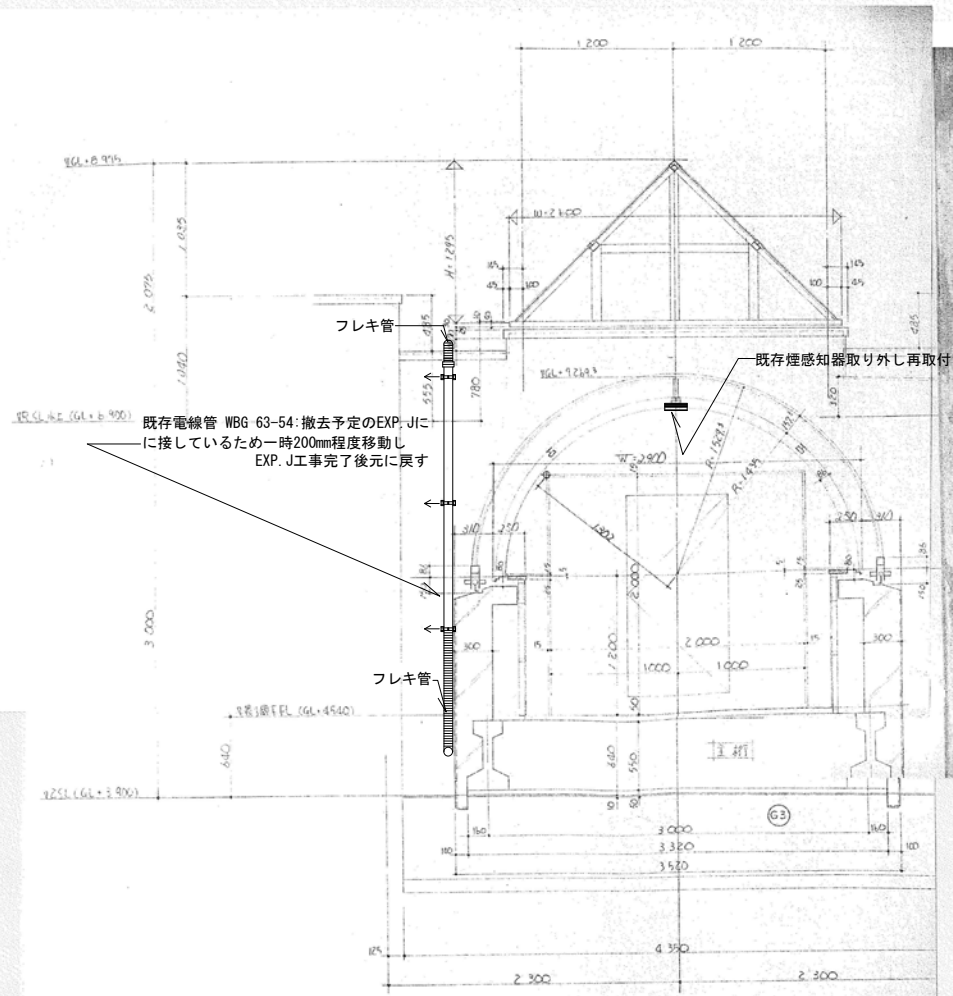
凡例記号
 文字 : 既存部分の今回工事範囲を示す
 文字 : 今回工事範囲の改修後を示す



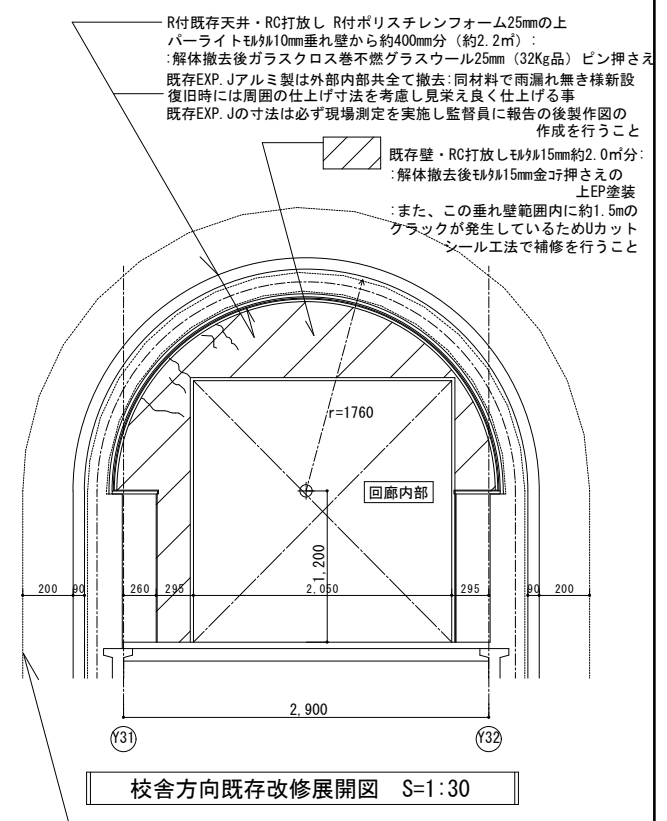
空中回廊 断面図 S=1:200

断面図

		委託番号	日付	平成28年度 向洋中学校空中回廊災害復旧工事	設計図	図面名 立面図	図面種別 A L
						縮尺 S=1:200	図面番号 08
						S=N. S (A3版 50%縮小)	

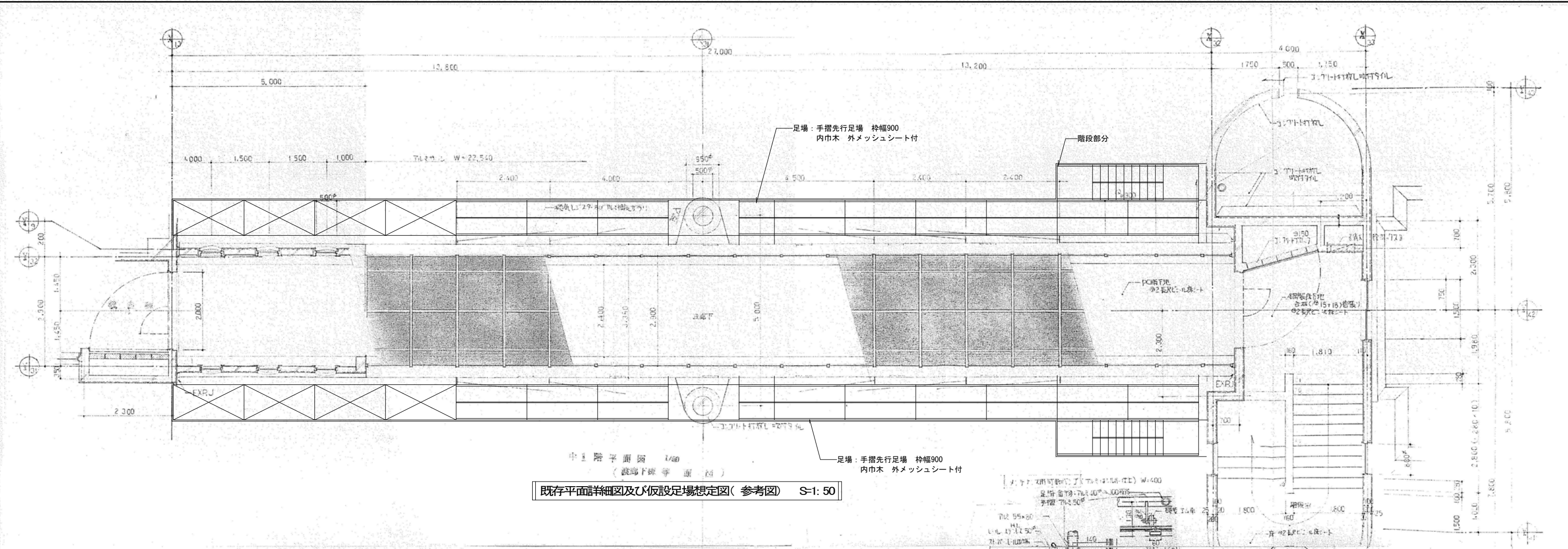


既存外壁・RC打放し吹付タイル・EXP. J改修後周囲200mm程度の範囲はモルタル20mmで成形し止水性を高めシーリング押さえの後防水形複層塗材Eで仕上げる事

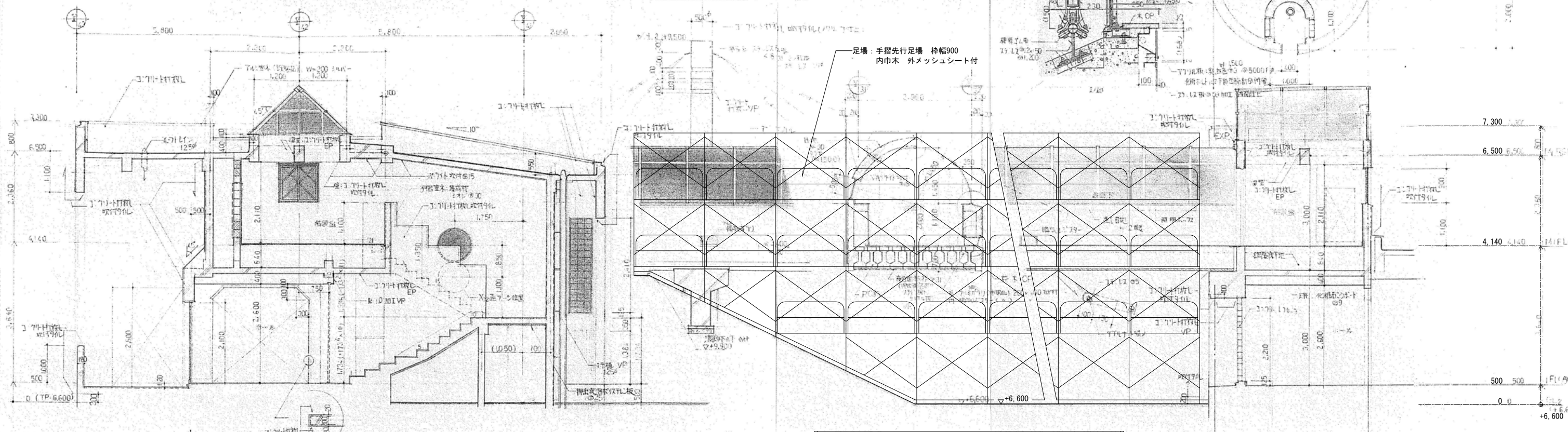


既存外壁・RC打放し吹付タイル・EXP. J改修後周囲200mm程度の範囲はモルタル20mmで成形し止水性を高めシーリング押さえの後防水形複層塗材Eで仕上げる事

		委託番号	日付	平成28年度 向洋中学校空中回廊災害復旧工事	設計図	図面名 断面詳細図(1)	図面種別 A L
						縮尺 S=1:30 S=N. S(A3版 50%縮小)	図面番号 09



既存平面詳細図及び仮設足場想定図(参考図) S=1:50



既存断面詳細図及び仮設足場想定図(参考図) S=1:50

※足場は参考として記載していますが、極端に数量や仕様が相違する場合は変更対象となります。

図面番号		図名		図面種類	
		詳細図(2)(参考図)		A L	
縮尺 S=1:50		S=N. S(A3版 50%縮小)		図面番号	
				10	

平成28年度 向洋中学校空中回廊災害復旧工事

設計図